CLA Award 2026

奨　励　賞


①


②


③

①日比谷通りより望む建物外観　②水景や緑があふれる地上部の広場
③都市の軸線を引込むランドスケープ

田町タワー

株式会社三菱地所設計　松岡央真・坪田勇人・佐藤雄紀・中村大紀
株式会社スタジオ・ゲンクマガイ　熊谷 玄・中村 覚

本計画敷地は、デッキレベルに改札を有するJR田町駅西口に近接し、地下鉄駅である都営浅草線三田駅の地上出入口を含む。そのため計画を通じて、総合設計制度を活用し、複数層を一体的に再編することで、広がりのある緑豊かな広場空間の形成を目指した。

また、かつては海に面する江戸の西の玄関口であり、江戸無血開城の会見が行われた薩摩藩の蔵屋敷があったことを踏まえ、歴史と地理的特性を踏まえたランドマークとなる建物計画が求められた。

外構計画においては、「URBAN NAVIGATOR」をコンセプトに、日比谷通りの斜め45度の軸線、折り鶴のような建物頂部や着物和装のように外装面が重なり合う形状に呼応しながら、人々をみどり豊かな広場空間へ誘うランドスケープデザインとした。

地上部の広場空間では、かつての芝の水辺を感じられるような水景や、植栽帯と一体となったベンチなどを計画し、地域の多様な人々が思い思いに過ごせる場所を創出している。

作品概要

作品名―― 田町タワー
所在地―― 東京都港区芝5-33-1
建築主―― 株式会社田町ビル／徳栄商事株式会社／三菱重工業株式会社
設計監理―― 株式会社三菱地所設計
設計協力―― 株式会社スタジオ・ゲンクマガイ
施工―― 清水建設株式会社
設計期間―― 2019年10月～2021年1月
施工期間―― 2021年 2月～2023年9月
規模―― 敷地面積　8,617㎡　延床面積　112,372㎡
地上29階、地下2階、塔屋1階
主要施設―― 広場、植栽、水景、ベンチ、景石、サイン、記念碑、屋上緑化、壁面緑化　他

作品評

動線計画や空間デザイン、将来計画に至るまで、細部にわたり丁寧に検討された完成度の高い計画である。特に、敷地内で完結するのではなく、周辺施設との関係性を積極的に創出し、それぞれの空間をシームレスにつなげようとする考え方は高く評価できる。また、人の動きを的確に捉えた動線計画と、その要所に適切な滞留空間を設けることで、歩く、立ち止まる、交流するといった多様な行動を誘発する空間構成も優れている。一方で、建築や動線、施設配置に対する明快なコンセプトと比較すると、植栽については、その構成や樹種選定、景観形成に込められた意図が十分に伝わらず、ややコンセプトが希薄に感じられた。全体として質の高い計画ではあるものの、建築的な空間構成が主となっており、ランドスケープを評価するCLA賞としては、植栽を含めたランドスケープデザインのさらなる深化を期待し、奨励賞とした。